

# 労働図書館新着情報

## 今月の図書紹介

<p>①江上剛著『働き方という病』徳間書店 (262頁, 四六判)</p> <p>大手メガバンクで数々の修羅場をくぐってきた著者が、組織でビジネスパーソンが直面する悩みに『論語』の言葉を使って答えながらエールを送る。新人には「苗にして秀でざる者あるかな。秀でて実らざる者あるかな」。縁があって入社した会社なのだから、必死に働かなければいけないと説く。「三十にして立つ」の覚悟を聞かれると「この道を行くと決めたら、迷わず歩くこと」だという。「不惑」の40代は現実には「迷いの渦中」。大事なものは迷っても、方向を決めること、「捨てる」ことだと論ず。50代、残りの10年をどう生きるべきか。著者は49歳で銀行を退職したので答える立場にないと述べるが、この10年は「ウソをつかずに好きに生きられてよかった」と振り返る。</p>	<p>③海老原嗣生著『お祈りメール来た、日本死ぬ』文藝春秋 (255頁, 新書判)</p> <p>気鋭の雇用ジャーナリストが「日本型新卒一括採用」を精妙なデータ分析や欧米型システムとの比較を通して読み解く。企業の採用競争と学生の狂おん、学業阻害は100年前から続いてきたと強調。アナログ時代からネットが普及したいまも、就活の流れは変わっていない。それは採用後の経路も同様。日本では組織の末端に大量の欠員ができるので、新卒採用が可能だが、欧米では未経験者の大量採用はあり得ない。「事務は入口」が日本であれば、欧州は「事務を一生」。就活問題は結局、日本型雇用のひずみに行き着く。とはいえ、欧米のシステムをつぎ木しても解決にはならない。「功罪のバランスをとりながら、残すべき点を傷つけない、正していくしかない」と結論づける。</p>
<p>②片岡裕司著『なんとかしたい!「ベテラン社員」がイキイキ動き出すマネジメント』日本経済新聞出版社 (271頁, 四六判)</p> <p>いよいよバブル期大量入社組が50代に突入する時代がやって来る。ベテラン社員が職場の多数を占め、その半数以上が管理職よりも年上になっていくと予測されている。著者はこうしたベテラン社員をイキイキ活性化させられなければ、今後の経営は立ちゆかなくなると主張。内心はベテラン社員自身も仕事で活躍したいと思っているとし、本書は、ひとりの管理職の視点を通して、部下であるベテラン社員にどう向き合い、接していくべきかを解説する。組織的な取り組みとして、①「仕事年表」でお互いを理解する②目標は与えず、考えてもらう③プライドを正しい方向にシフトさせる④「期待」と「感謝」を伝え、さらなる一歩を踏み出してもらう——などの重要性を訴えた。</p>	<p>④芝田文男著『「格差」から考える社会政策』ミネルヴァ書房 (ix+247頁, A5判)</p> <p>わが国に限らず、世界の主要な先進国で格差がますます拡大している。格差は経済成長へのインセンティブ(誘因)である一方、所得下位層の向上力をそぎ、社会の不安定化につながるの指摘がある。本書は、格差問題に関係の深い雇用政策や福祉政策、所得保障など現在焦点になっている社会政策にかかわる主要テーマについて、統計データを明示しつつ、問題解決の手がかりを平易に解説することを目的としている。「日本型雇用」の変質と労働政策について概観し、雇用維持の考えから労働移動促進への政策変更注目するとともに、解雇の金銭解決をめぐる論点を紹介している。最近注目を集めている社会保障を補完する政策であるベーシック・インカムについても言及。</p>

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

## 主な受け入れ図書

(2017年1—2月労働図書館受け入れ)

- |  |   |
|--|---|
| ⑤塚本一郎著『ソーシャルインパクト・ボンドとは何か』ミネルヴァ書房(vii+324頁, A5判) | ⑩土田道夫著『労働契約法 第2版』有斐閣(986頁, A5判)                           |
| ⑥林明文著『人事の定量分析』中央経済社(2+6+282頁, A5判)               | ⑪加賀博著『派遣社員のためのキャリアデザインハンドブック』日本生産性本部生産性労働情報センター(77頁, A5判) |
| ⑦山本紳也著『人事の本気が会社を変える』産労総合研究所出版部経営書院(xi+197頁, 四六判) | ⑫関谷大輝著『あなたの仕事、感情労働ですよ?』花伝社(211頁, 四六判)                     |
| ⑧浅倉むつ子著『雇用差別禁止法制の展望』有斐閣(xii+632頁, A5判)           | ⑬神坪浩著『セクハラ・パワハラは解決できる!』労働調査会(215頁, A5判)                   |
| ⑨労務行政研究所著『障害者雇用の実務』労務行政(252頁, A5判)               | ⑭矢野眞和著『教育劣位社会』岩波書店(vi+201+17頁, A5判)                       |

### 労働図書館 <http://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書118,275冊、洋書30,519冊、和洋の製本雑誌25,332冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(285種)、洋雑誌(120種)、紀要(510種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特に国際労働機関(ILO)総会の議事録や経済協力開発機構(OECD)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地: 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23  
 開館時間: 9:30 ~ 17:00  
 休館日: 土曜日・日曜日・国民の祝日・年末年始(12月28日~1月4日)、その他  
 電話番号: 03(5991)5032 / FAX: 03(5991)5659  
 利用資格: どなたでもご自由にご利用できます

貸出: 和書・洋書とも2週間、5冊までです  
 ※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください  
 レファレンス・サービス: 図書資料の所在調査などのサービスを行っています

